

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【公開番号】特開2014-198120(P2014-198120A)

【公開日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-058

【出願番号】特願2013-74604(P2013-74604)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月10日 (2016.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件が満たされたことに基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段の判定結果が特別の結果であることに基づいて遊技者に対して利益を付与する利益付与手段と、
遊技者により操作される操作部と、
演出表示が行われ、前記操作部を用いた演出が行われる場合に前記操作部を模した模画像が表示されうる演出表示手段と、
前記演出表示手段において前記操作部を模した模画像が 1 つ表示される第一演出状況と、前記演出表示手段において前記操作部を模した模画像が複数表示される第二演出状況とが現れうるように制御する特定画像制御手段と、
前記操作部を模した模画像が 1 つ表示される第一演出状況において、遊技者による前記操作部の操作が行われると所定の演出受けがなされ、該所定の演出受けがなされたことに基づいて特定演出を出現させる特定演出手段と、を備え、
前記操作部を模した模画像が 1 つ表示される第一演出状況において、遊技者による前記操作部の操作が所定期間内に行われない場合、前記操作部を模した模画像を非表示とするものであり、
前記操作部を模した模画像が複数表示される第二演出状況において、複数表示される前記操作部を模した模画像は、前記演出表示手段の表示領域内を移動するように表示されうる
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、
所定の発光演出が行われるランプ装置をさらに備える
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、
所定の音響演出が行われるスピーカ装置をさらに備える
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：所定の始動条件が満たされたことに基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段の判定結果が特別の結果であることに基づいて遊技者に対して利益を付与する利益付与手段と、
遊技者により操作される操作部と、
演出表示が行われ、前記操作部を用いた演出が行われる場合に前記操作部を模した模画像が表示されうる演出表示手段と、
前記演出表示手段において前記操作部を模した模画像が1つ表示される第一演出状況と、前記演出表示手段において前記操作部を模した模画像が複数表示される第二演出状況とが現れうるように制御する特定画像制御手段と、
前記操作部を模した模画像が1つ表示される第一演出状況において、遊技者による前記操作部の操作が行われると所定の演出受けがなされ、該所定の演出受けがなされたことに基づいて特定演出を出現させる特定演出手段と、を備え、
前記操作部を模した模画像が1つ表示される第一演出状況において、遊技者による前記操作部の操作が所定期間内に行われない場合、前記操作部を模した模画像を非表示とするものであり、
前記操作部を模した模画像が複数表示される第二演出状況において、複数表示される前記操作部を模した模画像は、前記演出表示手段の表示領域内を移動するように表示されうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】